

- 「周波数資源開発シンポジウム2005」開催のお知らせ

- 平成17年5月10日

---

近年、社会の情報化の進展により、電波利用は多様化し需要は急増しています。このような電波利用環境の変化及び電波利用の需要増大に対し、将来とも安定した周波数の供給を図るためには、利用できる周波数帯の拡大を図るとともに、既に利用されている周波数帯の効率的利用を促進する必要があります。このため、情報通信研究機構(理事長:長尾 真、以下NICTという。)では、平成5年より毎年、周波数資源開発シンポジウムを開催し、周波数の有効利用を可能とする最新技術等に焦点を当て、様々な観点からの講演会を行ってきました。

NICTは、社団法人電波産業会との共催により「周波数資源開発シンポジウム2005」を、5月27日(金) 明治記念館において開催いたします。今回は「新しいITS技術の動向と展望」というテーマで、次世代のITS 情報通信について、欧州、中国、韓国における技術動向、米国における自律走行運転実験、わが国におけるETC の通信方式を拡張した車々間通信やミリ波ITS 通信等の動向や先端技術について、各分野の第一線でご活躍の方々による講演を行います。

研究者や専門家のみならず、一般の方々のご参加も心よりお待ちしております。

- 1 日 時: 平成17年5月27日(金) 13時～
- 2 場 所: 明治記念館(東京都港区元赤坂2-2-23)
- 3 主 催: 独立行政法人情報通信研究機構  
社団法人電波産業会
- 後 援: 総務省(予定)  
財団法人電気通信普及財団  
ITS 情報通信システム推進会議
- 協 賛: 情報通信月間推進協議会
- 4 申し込み方法: 以下のホームページよりお申し込み下さい。  
<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 5 参加費: 無料
- 6 内容: 別紙(同時通訳つき)

---

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室  
奥山利幸、大野由樹子  
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<会議内容問合せ先>

情報通信研究機構  
横須賀無線通信研究センター  
磯部俊吉  
Tel: 046-847-5078、Fax: 046-847-5079

---

情報通信月間参加行事

「周波数資源開発シンポジウム2005」  
 新しいITS 技術の動向と展望  
 —安心・安全な新しい交通システムの未来を拓く—

●平成17年5月27日(金)

時間	次第	講師 (敬称略)
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	独立行政法人情報通信研究機構理事 塩見 正
13:00～ 13:10	来賓挨拶	総務省大臣政務官 山本 保
13:10～ 13:15	来賓挨拶	ITS 情報通信システム推進会議 研究開発部会長 慶應義塾大学教授 川嶋弘尚
13:15～ 13:55	講演1 欧州及びフランスにおけるITS の将来ビジョン	Ecole National Supérieure des Telecommunications de Bretagne, France Prof. Xavier Lagrange
13:55～ 14:35	講演2 IPv6 とアドホックネットワーク技術のITS への応用	University of Electronic Science and Technology of China Prof. Shizhong Xu
14:35～ 15:15	講演3 韓国におけるITS とテレマティークのための通信技術	Electronics and Telecommunications Research Institute, Korea Dr. Hyunseo Oh
15:15～ 15:35	(休憩)	
15:35～ 16:15	講演4 自律走行運転に関する実験報告と将来動向	The Ohio State University, USA Prof. Umit Ozguner
16:15～ 16:55	講演5 マイクロ波帯を用いた車々間通信システム検討状況	ITS 情報通信システム推進会議車々間通信システム 専門委員会委員長 富士通株式会社ITS 事業本部技師長 堀松哲夫
16:55～ 17:35	講演6 ミリ波ITS 通信実験と将来動向	情報通信研究機構横須賀無線通信研究センター 研究センター主管 藤瀬雅行
17:35～ 17:40	閉会挨拶	社団法人電波産業会専務理事 若尾正義
17:40	閉会	

(英語の講演には日本語の同時通訳が付きませ)